

ツイッター (TWTR)

【セクター】 インタラクティブメディア

【市場】 NYSE

【企業概要】

世界中で利用されている大手SNSの一角で、最大140文字以内という短文、画像、動画などを投稿できるオープンソース型配信プラットフォームおよび交流のためのプラットフォームを運営しているIT企業です。投稿は「ツイート（つぶやき）」と呼ばれ、他のSNSよりも気軽に「つぶやける」ことが人気の1つとなっています。リアルタイムで発信して瞬く間に世界中に拡散するのがTwitter最大の特徴です。芸能人や大統領、世界的な大企業なども同社プラットフォームを発表の場として利用しています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

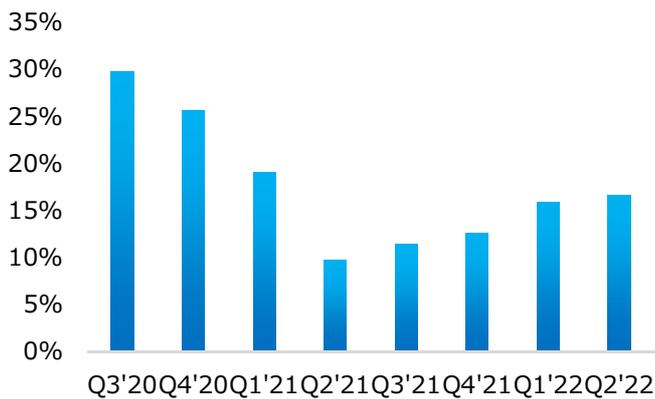
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.12期	3,716	-28	-0.04	0.00	10.2	-13.6	59.6
21.12期	5,077	317	0.40	0.00	9.1	-2.9	52.0
22.12期（予）	5,374	947	0.96	0.00	7.3	4.7	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

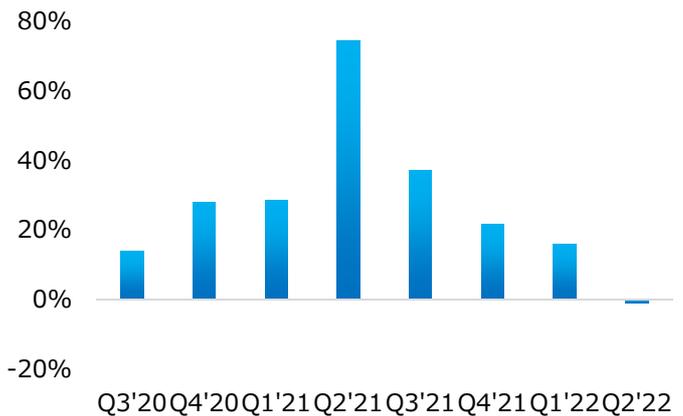
【主要指標】

収益化可能な1日当たりアクティブユーザー数の伸び率（前年同期比）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

四半期売上高の伸び率（前年同期比）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

Twitterの売上高は広告収入（売上高の90%を占める）とユーザー・データのライセンス料（同10%）が収益源です。同社のプラットフォーム上で広告を見たユーザー数の指標となる「収益化可能な1日当たりアクティブユーザー数（mDAU）」が最も注目されている指標となります。また、配当で株主に還元するよりも、事業に再投資して企業を成長させた方が将来的な還元につながるという考えがあるため配当は行っていません。これまでに約60社以上の企業買収を積極的に行っており、短期的には業績悪化につながる可能性があります。

【見通し・注目点】

4-6月期の業績は、売上高が前年同期比1%減の11.8億ドル、2.7億ドルの純損失（1株当たり35セント、調整後は8セント）。前年同期は0.7億ドル（1株当たり8セント）の黒字。広告ビジネスへの依存から脱却を目指し、広告以外でのマネタイズ手段の拡充に取り組みます。有料サブスクリプションプランの「Twitter Blue」・限定コンテンツを閲覧できる「super follows」・投銭機能の「Tip Jar」などの新サービスを強化していきます。同社は4000万人近い米国のDAUのうち、1桁台半ばから後半のユーザーが新サービスに加入するだけで、サブスクリプション収入で1億ドル～2億ドルを得られる見通しです。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。